



須江小だより

No.6

令和6年9月2日発行

2学期に頑張りたいこと

校長 佐々木 淳

夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻りました。例年以上に暑い日が多い夏休みでしたが、それぞれのご家庭で安全で充実した毎日にしていただいたことに感謝申し上げます。

始業式では、1・3・5年生の代表児童が2学期に頑張りたいことを発表しました。「友達のいいところを探したい」「引き算を頑張りたい」「行事が楽しみ」などいろいろありましたが、頑張りたいこととして3人とも選んでいたのが

「漢字の学習」です。初めてだから楽しみ、丁寧に正しく書くようにしたい、たくさん練習して百点をとれるよう努力したいなど、漢字の学習を頑張りたい、という強い意欲が伝わってきました。

各教室でも2学期のめあてを立てていました。須江小っ子運動に合わせて「あいさつ・はたらく・おもいやり」の三つの観点で立てたり、生活面と学習面に分けたり、学び・笑顔・元気という観点で書いたりと学級によって工夫されていましたが、学習のめあてに注目すると、漢字の学習をたくさんの子供が選んでいることが分かりました。やっぱりたくさんの子供が漢字の読み方や書き方をしっかり覚えたいと思っているのです。

須江小では学び合いの学習スタイルを取り入れ、共に学び共に育つ授業を目指しています。学校教育全体では「有情の心」を大切に、互いを思いやる優しい心や人と人との関わりの中で育つことを指導の重点としています。子どもたちへのアンケートでも、友達と一緒に勉強することは楽しいと感じる傾向が伺えます。しかし一方で、こつこつと一人一人が努力を重ねて覚えるという学習に対して、多くの子どもたちが高い意欲を持っているのだと改めて

感じました。そして、学ぶ意欲の土台の一つとして根を張り、子どもたちの毎日の学習を支えているのだと思いました。



支え合って学ぶ学習を充実させるとともに、子どもたちの頑張る気持ちに応え、伸ばしていけるように指導していきます。2学期も、1学期同様、ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。